

## Y06c 宇宙大規模構造の3次元可視化

相澤 雄太 (千葉大学理学部)、宮路 茂樹 (千葉大学自然科学研究科)

今まで千葉大学では3Dシアターを利用して、ヒッパルコスを用いた銀河構造の3次元可視化、しし座流星群の3次元可視化等、ステレオグラスを用いた立体視のためのソフトウェアを開発してきた。今回SDSSの第4リリースのデータを用いた宇宙大規模構造の3次元可視化を行った。

SDSSのデータは、観測された銀河等の赤方偏移や方向ばかりではなく、スペクトル等の情報をHP上で公開しているので、それらのデータを用いることでコンピューター上の仮想四次元時空間に単にその位置を描画するだけでなく、クェーサーやcD銀河等の特徴ある天体に擬似的に色をつけるなどして、宇宙の大規模構造を見やすくする等の工夫を行った。

さらに、天文教育用として、簡便に3次元構造を理解できるムービーの製作を行う。